

コープ産直たまごにおけるアニマルウェルフェアの取り組みについて

1. コープ産直たまごにおけるアニマルウェルフェアの基本方針

- (1) コープデリグループのアニマルウェルフェアに対する取り組み（アニマルウェルフェアに関する学びと理解を広げます。アニマルウェルフェアに配慮し飼育され生産された畜産物の取り扱いを進める）の考えに基づき、「コープ産直たまご」におけるアニマルウェルフェアの取り組みは、「コープ産直たまごガイドライン」に具体的な内容や基準・目標を定めて取り組みを進めます。
- (2) 衛生的で品質の高い鶏卵を生産するとともに、動物の5つの自由を最大限に担保していくことに資する「コープ産直たまごガイドライン」とすることを目指します。
- (3) お取引先の飼育環境を踏まえた上で、採卵鶏にとって可能な限り良い環境を実現できるような基準・目標を設定し、計画的に達成していくことを目指します。
- (4) 平飼い・ケージ飼い等のそれぞれの飼育方法や施設条件の特徴を考慮した上で、採卵鶏にとっての快適な環境を目指した継続的な改善に取り組むことを必須要件とします。
- (5) 具体的なアニマルウェルフェアの取り組みについては、農林水産省や日本養鶏協会など関係団体の情報収集に務め、将来的に関連する法令等が設定された場合には、遵守できるよう準備を進めます。

2. コープ産直たまごにおけるアニマルウェルフェアの取り組みについて（これまでとこれからの取り組み）

- (1) これまでのコープ産直たまごにおけるアニマルウェルフェアの取り組み
 - ① 2011年より「コープ産直たまごガイドライン（＊1）」を定め、たまごの品質だけでなく、鶏にとってもより良い環境づくりを目指した指針を設定してきました。
 - ② 2022年度には、ガイドライン照合表に畜産技術協会が作成した「アニマルウェルフェアの考え方に対応した家畜の飼養管理指針」を使って、各養鶏場の管理者が定期的に自己チェックを行なうことを推奨要件としてきました。
 - ③ 2023年度より、農林水産省が国際基準であるWOAHコードに沿った「新たな国の指針」（畜産局通知）を策定したため、取引先会議で学習を進めるとともに、農林水産省が策定した「アニマルウェルフェアの考え方に対応した採卵鶏の飼養管理指針」を従業員で学習することおよび「アニマルウェルフェアに関する飼養管理指針」のチェックリスト（採卵鶏）への適合状況を年1回以上自己評価することをガイドラインの推奨要件としてきました。
 - ④ 2024年度には、
 - ア) コープ産直たまごに「有機JAS認証たまご」のラインアップを加えました。
 - イ) これからの鶏卵のアニマルウェルフェアについての具体的な行動計画を作成するため、取引先とともにタスク形式で検討を進めてきました。
- (2) これからのコープ産直たまごにおけるアニマルウェルフェアの取り組み
 - ① コープ産直たまごにおけるアニマルウェルフェアの基本方針に基づき、取り組み基準・目標をガイドラインに明記し、計画的に取り組みを進めていきます。

②定期的な進捗管理を行い、その結果をお取引先とともに共有した上で、コープデリが目指すアニマルウェルフェア実現のための目標とタイムスケジュールを設定します。

(3) 調達方針として、動物の5つの自由（※2）を大切にした取り組みを遵守することを重視していきます。

3. 用語解説

※1 コープ産直たまごガイドラインとは

会員生協およびコープデリ連合会の取り扱う「コープ産直たまご」の品質向上を図り、組合員・消費者の満足と信頼を得ることを目的とした指針として定めたものです。

たまごの共同開発にあたり、養鶏場およびGPセンター等の生産・加工の現状を踏まえた上で、コープ産直たまごの取り扱いに関する運用や品質管理等に関する指針を定めることにより、CO・OP産直たまごの信頼や品質に対する管理水準を高めることを目的としています。

※2 5つの自由とは

飢え、渇き及び栄養不良からの自由

恐怖及び苦悩からの自由

物理的、熱の不快さからの自由

苦痛、傷害及び疾病からの自由

正常な行動様式を発現する自由